

EndoFirst 3

～ 歯科治療の基本はエンド～

Produced by
YOSHIDA

詳細

会場でも、ご自宅でも、ご診療室でも受講可能！前回大変ご好評いただきました。「特別講演会 EndoFirst」第3弾の開催が決定！

ヨシダのホームページよりお申込みください。

オンサイト講演 お申込

※G-PLUSへの会員登録が必要です。
スマホからはQRで簡単アクセス ▶
<https://x.gd/VuRfL>



オンデマンド配信 お申込

※G-PLUSへの会員登録が必要です。
スマホからはQRで簡単アクセス ▶
<https://x.gd/MHcRr>



G-PLUS

オンサイト講演（会場集合）

開催日 **2023/7/30 (日)** 開催時間 **10:00 ~ 16:30**

定員 **40名**

会場 富士ソフトアキバプラザ セミナールーム 3
〒101-0022
東京都千代田区神田練堀町 3-3 富士ソフト秋葉原ビル

- ライブ配信はございません。
- オンサイト講演お申込みの場合はオンデマンド配信もご視聴いただけます。
- オンサイン講演は講師への質疑が可能です。

受講料 **25,000円** (税込)

◆スケジュール◆

- 10:00 ~ 10:05 開会挨拶
- 10:05 ~ 11:35 石井 宏 先生
- 11:35 ~ 11:45 休憩
- 11:45 ~ 13:15 エウデス・ゴンチン Jr 先生 ※同時通訳
- 13:15 ~ 14:00 お昼休憩
- 14:00 ~ 15:30 寺内 吉継 先生
- 15:30 ~ 15:40 休憩
- 15:40 ~ 16:30 ディスカッション・質疑

オンデマンド配信

配信期間：2023年8月18日～2023年9月18日

- オンデマンド配信ではライブディスカッションはご覧いただけません。

受講料 **15,000円** (税込)

協賛

アンジェラスジャパン デュールデンタルジャパン

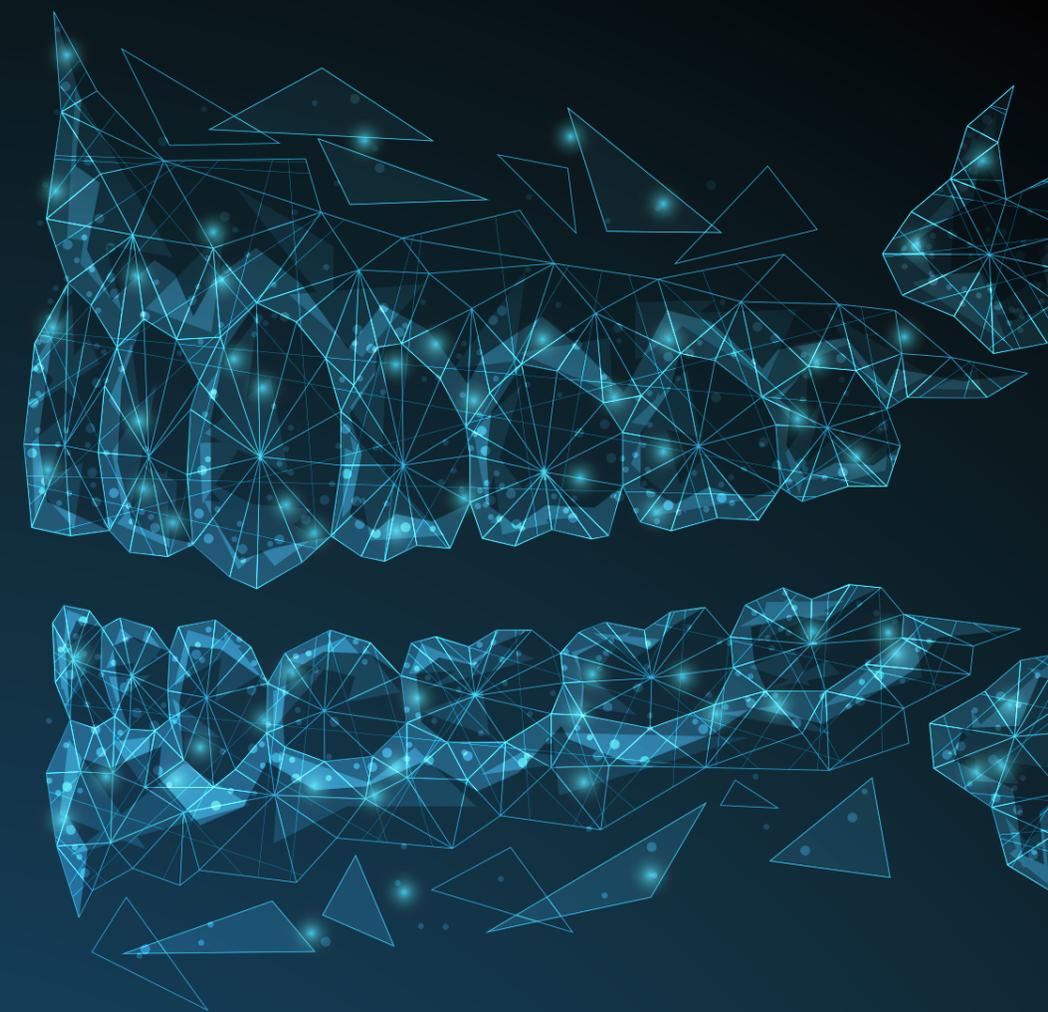
お問い合わせ

株式会社 **ヨシダ**

株式会社ヨシダ 器材部

03-3845-2931

Endodontics is the basis of dental treatment.



[特別講演会]

EndoFirst 3

～ 歯科治療の基本はエンド～

世界のエキスパート達がリレー講演



モデレーター
北村 和夫 先生



講師
石井 宏 先生



講師
エウデス・ゴンチン Jr 先生
※同時通訳



講師
寺内 吉継 先生

- MI in Endodontics ～最近の潮流～ — 石井 宏 先生 — 90分
- 歯内療法における可能性：アピカルマイクロサージェリーの役割 — エウデス・ゴンチン Jr 先生 — 90分
- 感染根管治療時における MTA 根管充填の有効性 — 寺内 吉継 先生 — 90分

開催日時

7.30 10:00
16:30
(日)

オンサイト講演（後日オンデマンド配信 視聴可能）

受講料：25,000円 (税込)

定員：40名

オンデマンド配信

配信期間：2023年8月18日～2023年9月18日

受講料：15,000円 (税込)

お申込みは裏面へ

EndoFirst 3

～ 歯科治療の基本はエンド～

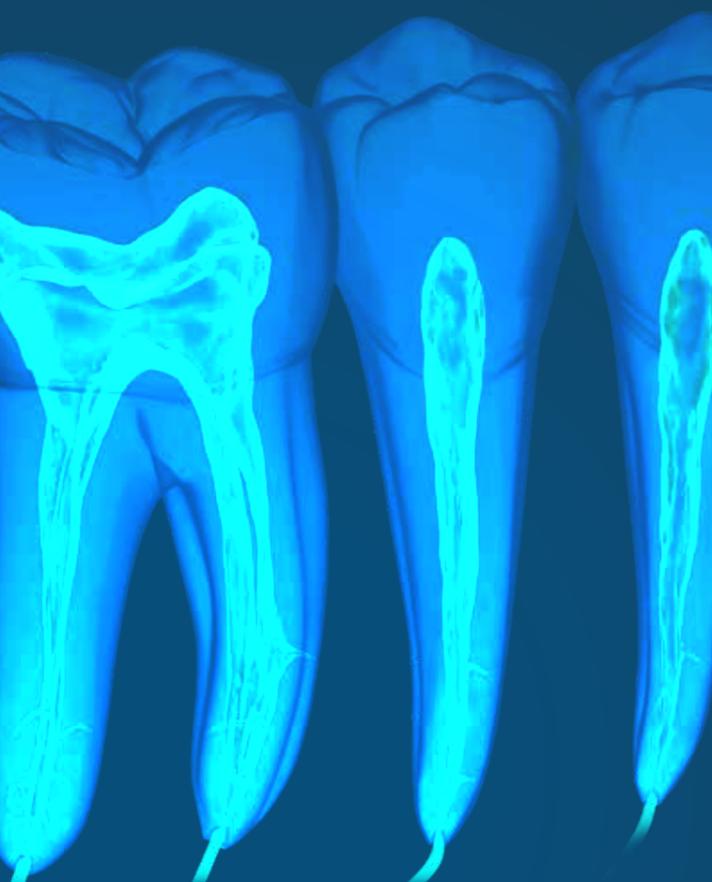
モデレーター

北村 和夫 先生

Dr.
Kazuo
Kitamura



1986年 3月 日本歯科大学歯学部卒業
 2015年 4月 日本歯科大学附属病院総合診療科 教授
 2016年 4月 日本歯科大学附属病院 研修部長
 日本歯科保存学会：専門医、指導医、理事
 日本歯内療法学会：専門医、指導医、代議員
 関東歯内療法学会：理事



講師

石井 宏 先生



Dr.
Hiroshi
Ishii

学歴
 1993年 神奈川歯科大学卒業
 2006年 ペンシルバニア大学歯内療法学科大学院修了
 職歴
 1996年 都内歯科診療所開業
 2007年 港区新橋にて歯内療法専門医院開設
 2018年 中央区銀座に移転
 現在に至る
 ペンシルバニア大学非常勤講師
 所属学会
 American Association of Endodontists specialist member
 日本歯内療法学会 専門医

MI in Endodontics ～最近の潮流～

MIの概念はその他の医学領域と同様、歯内療法学においても例外にはならずその潮流に乗っていることに気づいている先生は多くいらっしゃると思います。

その概念のなかでも中心的な役割を担う根管形成の目的や概念を、1950年代以降の歴史の変遷を振り返りながら、現時点での潮流においてそのコンセプトとテクニックを考察します。歯内療法領域における知見やテクノロジーの発展とともに、根管形成におけるコンセプトもテクニックも少なからず変わりました。しかしながら、歯内療法の基礎となる微生物との戦いの部分は一貫して変化しておりません。そのような状況で、現時点で選択可能な機材やテクニックのなかから如何にして最善手を選択するのか、なぜそれを選択するのか、歯科医院に来院し問題を解決したい患者に、術者が自信を持ってその知識や技術を提供するために何をどうしたらいいのか、そのような視点で少しでもお役に立てる話をさせていただきます。

待望の来日!

講師

エウデス・ゴンチンJr 先生



Dr.
Eudes
Gondim Jr

*講演は同時通訳です。

1993-1994 Endodontist, Sao Paulo Association of Dental Surgeons (APCD-ADA Affiliated)
 1995-1996 International Endodontic Program, University of Pennsylvania School of Dental Medicine
 1997-1998 Fellowship - Pain League School of Medicine University of Sao Paulo
 2019- Post-doctoral fellowship, Department of Oral Pathology, School of Dentistry, University of Sao Paulo, Brazil
 1996- Private Endodontic Practice, Sao Paulo, Brazil

歯内療法における可能性： アピカルマイクロサージェリーの役割

現代の臨床現場では、健康的な口腔内の機能を維持するために最も有益な長期的治療法を患者が選択できる様、材料、器具、の開発背景に精通していることが専門家には求められています。近年、歯内療法と歯内療法外科の分野のアウトカム研究では常に高い成功率を示しています。一方、生物学的な治療結果の評価基準や実際の成功率については、3Dの導入により治癒の状態が明確になったことで疑問視される様になりました。本講演では、歯内療法マイクロサージェリーによる最良のエビデンスと、その長期的な成功に寄与する要因について説明致します。また、予測可能な結果を得るための新たな考察を提示し、歯内療法的再治療が必要な臨床シナリオを明らかにする予定です。

歯内療法手術の潜在的な結果を評価する。

適切な治療計画の必要性とは？

日常臨床における意思決定のためのガイドラインとは？

手術部位の治癒パターンとは？

マイクロサージェリー治癒にどのように影響し、最も予測可能な結果をもたらすか？

講師

寺内 吉継 先生



Dr.
Yoshitsugu
Terauchi

神奈川県大和市開業
 医療法人社団インテリデント理事長、
 東京医科歯科大学非常勤講師、
 日本顕微鏡歯科学会指導医、AAE認定講師、
 ボストン大学歯学部歯内療法科非常勤臨床准教授、
 パチェシア大学歯学部歯内療法科非常勤教授、
 Toronto大学 Endodontic Study Program 講師、
 ボルトガルEgas Moniz大学非常勤講師、
 日本顕微鏡歯科学会2024年大会会長、
 デンタルアーツアカデミー専任講師・通訳

感染根管治療時における MTA 根管充填の有効性

難治性根尖性歯周炎の約9割の歯の根尖側1/3の根管にバイオフィルムが存在していたことが報告されている。またバイオフィルムはEPSに囲まれているため根管洗浄による殺菌は期待できない。さらには長期的に存在しているバイオフィルムの大部分が石灰化していて通常の根管治療で除去することができないことが報告されている。実際に初回の根管治療の成功率と根尖透過像のある再根管治療の成功率では有意に後者の方が低くなっている。このような状態にある根管を根尖まで形成してガッタパーチャとシーラーで再度根管充填するのが良いのか、それともMTAで根管充填した方が成功率を上げることができるのか。今回の講演ではエビデンスをベースに根尖透過像のある歯の感染根管治療の最良の根管充填方法を提示したい。